

## 名古屋大学：専攻横断型の包括的保健医療職の育成

<採択理由>

大学院教育の実質化の面では、看護学専攻とリハビリテーション療法学専攻の乗り入れによって、超高齢社会での活躍を期待するトータルヘルスプランナーを養成するという試みは優れている。大学の中で、このプログラムの位置付けがなされ、大学独自にトータルヘルスプランナーとして認定する制度が整備され、既にプログラムが開始しており、実現性も期待できる。

教育プログラムの面では、従来の看護学専攻とリハビリテーション療法学専攻に科目を上乗せする形であり、目的とする人材育成が可能か検討の余地がある。また、トータルヘルスプランナーとしての修了後のキャリアパスの具体策を考慮することも必要である。